

## 第2講：メディアの現在

\*第1講の残りpp3-4を最初に

### 1. 情報 information [U]の伝達方法

1) 言語 学生3人が黒板の前でみんなに向かって、それぞれの長所を説明しました

- ・ことば language
- ・文字 letter (block letters), character (Chinese character)
- ・活字 type

\*それぞれの獲得年代、記録能力／心や精神／集団への作用から見た特徴は？

### 2) 非言語

- ・音 sound
- ・音楽 music
- ・絵 picture, drawing, painting

\*考古学上／歴史上の証拠（両者の違いは？）、情報伝達／知覚や認識／祝祭や儀礼から見た特徴は？

考古学上の証拠＝物、歴史上の証拠＝文字記録

### 2. マスメディア the mass media

#### 1) 「マスコミ」

- ・テレビ television や新聞など伝達手段は英語ではマスメディア mass media という
- ・メディア media の他の意味は？
- ・なのでメディアは情報などの伝達手段や方法を指す

#### 2) 「既存メディア」

- ・既存メディアは、文字通りすでにある伝達手段
- ・現在の用法では、何を指しているか？
- ・「新規メディア」として想定されているものは何か？

### 3. インターネット

#### 1) インターネットはメディアか？

- ・インターネットはインフラ infrastructure ？
- ・インターネット上にさまざまなメディアがある？
- ・重層的なハードとソフト

\*インターネット網の略図を描いてみよう、使用しているソフトの種類は？

#### 2) インターネット・メディアの特徴

- ・みんなが発信者 かつては政治家や大手メディア、大学の先生など有識者「エライ人」に限られていた
- ・みんなが評論家 たとえばアマゾンの「カスタマーレビュー」
- ・匿名での活動が可能

その結果

- ・玉石混淆の掲載内容
- ・無批判な転写（コピーアンドペースト copy and paste：コピペ）とチェーンメール
- ・過剰に感情的な書き込み（「ブログ炎上」、2ちゃんねるでの誹謗中傷）

その一方で

- ・ひとにぎりの作家性と影響力
- ・地球規模の独占状態　たとえばグーグル、競争が地球規模になり勝者は世界でひとりという状態
- ・情報漏洩と収集

求められる　博物館の役割を「文化の多様性の保持」と説明しました

- ・情報管理能力　インターネットが変えた／つくった世界（観）に
- ・真贋判別能力　フラット化（地域国籍身分肌の色など関係なくウェブ上の掲示物で判断される）がある
- ・冷静な情報発信
- ・実名での活動能力と活動環境

### 3. 注目のウェブとメディア

#### 1) ウェブサイト

- ・ポータルサイト
- ・検索サイト
- ・ブログ
- ・ウィキ wiki
- ・通販
- ・報道／広報　\*どうちがう？
- ・インターネットラジオ
- ・テレビやラジオの乗り入れ

\*ホームページ、ウェブページ、ウェブサイトの違いは？

#### 2) 「ソーシャルメディア」

- ・掲示板
- ・動画共有サイト
- ・カスタマーレビュー　これは商売のためではなく、
- ・SNS social network service　使用者が自身の体験をみなに伝えたいという欲求で書かれている
- ・ツイッター twitter　そこが「商業」ではなく「社会」性というところ
- ・フェイスブック Facebook
- ・ミクシィ mixi

\*対立概念は「産業メディア」あるいは「商業メディア」

\*\*世の中を政治・経済・社会に3分するように、メディアは広報・マスコミ・ソーシャルメディアと区分？